

公益社団法人 福岡県理学療法士会

平成 30 年度 第 6 回理事会議事録

日 時：平成 31 年 2 月 2 日（土）15：00～ 17：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

出席者：(理事) 西浦、近藤、廣滋、宇戸、音地、佐藤、高橋、熊谷、諫武、永野、岩佐、山内、遠藤、福田、
松崎、時吉

(欠席) 永友、久保田、久原、今村

(監事) 森田、日野

(選挙管理委員) 田代、早川

(事務員) 中山、長田

(書記) 加藤、池田

議長は、西浦会長がつとめ、近藤事務局長とともに議事録に署名することを確認した。

【審議事項】

【会長】

1. 平成 31 年度事業計画案について

前回承認得られたため省略

2. 平成 31 年度予算案について（別紙：01、02）

→承認

3. 理事会組織図の改変について（組織検討委員会からの答申）（別紙：03、04）

廣滋学術局長：三役に会長、副会長 3 名、事務局長。学術局、社会局、地域包括ケア推進局、支部局、総務局
および各部から構成。事務局は総務局に名称変更する。社会局の名称は事業内容が漠然として
いるため、今後社会局の名称変更を検討。理事名称・部長名称の統一を図るということで、各
局の下部、例えば社会局の下部に公益事業部を公益事業担当理事とし、その下に企画推進部長
と表現するようにしている。

西浦会長：現行の組織図について見直す箇所がないかとのことで提案していただいた。総務局に関しては災害
医療も含め総務部の担う役割も増加している。副会長・事務局長は県士会内の管理を行うことに重
点を置く方針。26 名となっているが理事人数を増やすということではなく、必要に応じては兼任
をしていただく。

松崎地域包括ケア推進局長：地域包括ケア理事が 3 名に増員している理由は各支部での活動を加味して増員し
ている。

西浦会長：現時点での組織検討委員会の提案である。

→組織図に関して承認

高橋社会局長：社会局の名称について変更を検討しているのか。

西浦会長：名称について何か良い提案はないか。もし可能であれば理事メールなどで提案していただきたい。

西浦会長：現在 23 名となっている。追加で 2 名の理事を推薦させていただきたい。

また監事に関しても1名追加推薦をさせていただきたい。

→理事・監事の推薦について承認

岩佐理事：もし部長などを理事に推薦する方針であれば、各理事に前もって提案させていただきたい。

西浦会長：部長は公募であるため許可は必要では無いが、提案はさせていただく。

日野監事：この組織図の開始はいつから予定しているのか。

西浦会長：組織図は理事会承認で運用可能。今回承認を得たので新体制の6月から開始予定としている。

廣滋学術局長：可能性としては社会局の名称に関しては今後検討していくことになるが、体制としてはこの体制ということで。

熊谷理事：啓発事業として体力測定会やスポーツ事業が同部署で行われているので各事業に応じて部署を分割しても良いのではないかと考えるが。

高橋社会局長：他県士会でもスポーツ事業を独立して行っているところもあるが、内容としてははっきりしていない点もあるのでどうかと思う。個人的には啓発として大きな役割として実施させていただきたい。

西浦会長：スポーツ推進として以前は動いていたが、現在は予防事業として大きく幅は広がっているので今はこの組織図で動かしてみても良いと考える。他部署も含めて細分化するとキリがなくなってしまう可能性がある。

廣滋学術局長：公益事業については多様化していて企画推進部長についてはそこが分かれている形になっているのかどうか。

熊谷理事：実質縦割りとして事業としてほとんど他事業と協同して行うことがないため、部署として分担しても良いかと考えている。

廣滋学術局長：社会局の中で検討させていただきたい。

遠藤理事：26名必要となっているがどうするのか。

西浦会長：理事定数は25名のため兼任となる可能性もある。

近藤事務局長：社会局や公益事業推進部もイメージがつきにくいのは確かです。

西浦会長：名称については社会局内で今後検討させていただきたい。

4. 支部地区割りの改変について（組織検討委員会からの答申）（別紙：05）

廣滋学術局長：8地区から13地区へ移行する（北九州3→4、福岡3→5、筑後2→4）

2019年度の代議員総会について提案し承認させていただきたい。代議員2020年6月から2年間、地区部長に関しては2020年4月からの1年3ヶ月の任期を予定している。

西浦会長：地区編成については会員数の増加、地域医療構想も踏まえて再検討を依頼していた。メリットもデメリットも多くあると考えるが、組織力の低下も考えられる。支部局で地区改変についてしっかりと練ってほしい。13地区にすることを急いでいる訳ではないが、しっかりと検討してほしい。本日承認は求めている。

山内理事：地域医療構想についての移行と考えるか。

西浦会長：医療圏の振り分けについてもいろいろ意見があるが、会員数の増加もあるため会員の事業参加も踏まえると細分化した方が良いかと考える。

山内理事：上からの通達事項の伝達がうまくいくのかが危惧される。

遠藤理事：現在糸島は2地区に分類しているので研修会に参加は難しかったりするが、どの点に着眼するかで違う。

岩佐支部局長：支部局と組織検討委員会とですりあわせていければと考える。

遠藤理事：地区分けの理由を決めてもらうと、検討しやすい。研修会参加などを目的とするか

山内理事：社会局・学術局スタッフなどに関しても運営委員が減少してしまうのではないかと

廣滋学術局長：細分化するメリットは研修会参加しやすくなる、横のつながりが増すと考える。上からの指示
伝達については管理者研修会を行っている中でネットワーク構築もしているなか今後はより
地域へ浸透しやすくなっていくのではないかと。

岩佐支部局長：支部・地区の方で今後何かメリットになることを見つけていきたい。

西浦会長：支部だけでなく各理事もでしっかりと吟味していただきたい。

廣滋学術局長：いままで参加できなかった地域の会員へも参加しやすくなると、県士会がより活性化するの
ではないかと考える。

西浦会長：支部・地区も頑張っている中、福岡はかなり組織として進んでいると考える。さらに細分化してメ
リットがあるかどうかを検討していただきたい。

近藤事務局長：現在の支部理事もそうですが、現在の地区編成で本当に良いのかどうかは現理事の方がイメ
ジが付きやすいと考える。地区割りは13地区としているが数にこだわるわけではない。

西浦会長：こだわっているわけではないので13領域は一旦外して考えてもらって良い。支部が行いやすいの
が一番と考える。その方向性で良いか。

→継続審議

会館設立の積立金について

廣滋学術局長：現状を考えたときに、今の積立金額が妥当かどうか。県士会として財産を残す必要があるのか、
賃貸のままで良いのではないかと。自社ビル建設は難しいと判断している。設立は見直す方針。積
立金の取り扱いに関しては今後検討することとする。

諫武理事：県には会館を設立することを申請しているので、変更の場合は報告をする必要がある。

西浦会長：県士会としては設立したいが現状は難しい

→継続審議とする

【事務局】

【法人事業】

[総務部]

1. 共催・協賛・後援規定作成について（別紙：06、07）

前回理事会よりの継続議案であった共催・協賛・後援規定について再検討を行ったので審議いた
だきたい。

→承認

2. 2019年度管理者研修会企画について（別紙：08）・・・学術局より提出依頼

2019年度より管理者研修会は学術局の主幹となるが、別紙の通り企画案を作成したので審議いた
だきたい。

諫武理事：来年度より学術局主幹で行っていただく方針となっている。総務局と学術局で検討した。地
区別の管理者研修会についての内容を提案する。職域別に関しては今後検討していく。

西浦会長：今年度は8地区開催して良い刺激を受けた。開催して良かったと感じた。グループワークも
活発に意見が出た、毎年力を入れて実施していきたい事業と考える。

松崎地域包括ケア推進局長：内容は魅力であるが参加を促すためにもポイント取得ができるとよいと考える。上級の取得はどうなっているのか。

諫武理事：上級に関してはeラーニングで取得可能。ポイントに関しては今後学術局と検討していく。

岩佐支部局長：スキルアップ研修会は検討しているか。

西浦会長：職域別に関しては現時点では今回で一回終了と思われる。顔の見える関係で管理者研修会を県士会全体で盛り上げていきたいと考える。

→承認

3. 2019年度予算・平成30年度決算総会（案）について（別紙：09）

開催日時、場所、タイムスケジュールについてご審議いただきたい。

諫武理事：今年度の内容と概ね流れの変更はない。本日は日程だけでも決定しておきたい。

松崎地域包括ケア推進局長：総会後に部長を公募して事業に取り組むことを考えると、時期は早いほうが良い。

近藤事務局長：協会の代議員総会が1週間前に行われるので、その後であれば協会の流れがわかるので県士会の方向性も説明しやすいかと考えた。

諫武理事：逆算すると6月1日開催であれば総会資料が代議員の手元に届くのが1週間前くらいになると考える。

西浦会長：6月15日で開催します。部長の公募は総会前に募集しても良いのか。

近藤事務局長：部長の公募については事前に案内することは可能と考える。

西浦会長：総会後の理事会での承認を待つのではなく、総会後に臨時理事会を開催して承認を行うこともできる。そうすると組織としての空白は減るのではないか。

→総会日程に関して承認

【財務部】

1. 平成31年度予算（案）について（別紙：01、02）

各部局より提出された事業計画をもとに平成31年度予算案を作成したので別紙参照いただきたい。

→承認

【学術局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

【学術局】

1. 大韓物理治療士協会慶尚南道会（学会）への出務について（別紙：10）

会 期：2019年4月21日（日）9：00～12：00（前日渡韓予定）

講 師：2名（うち、1名は会長）を希望されている（スポーツ領域）

依頼者：チャン・ジョンジェ会長

返信締切：1月25日

講師候補：

①野原 英樹 氏（福岡リハビリテーション病院） 競技：バスケット・野球

②河上 淳一 氏（九州栄養福祉大学）

③嶋田早希子 氏（田原整形外科）北九州市バスケットボール協会、高校福岡県女子選抜トレーナー：
バスケット

④工藤 憂 氏（久恒病院 女性 PT） 競技：野球

廣滋学術局長：韓国側よりスポーツ領域でとの依頼あり。

山内理事：以前は講師の略歴を提示していただいていたが。

廣滋学術局長：講師に関して詳細紹介。

講演は 50 分間、実際は通訳もあるため 20-30 分程度。承認いただければ順番に打診していきたい。

→承認

廣滋学術局長：会長へ講師依頼あるがどうか。

西浦会長；スポーツ領域での講演依頼のため会長代理として廣滋学術局長にお願いできないだろうか。

廣滋学術局長：もし代理で行かせていただけるなら「介護職員の腰痛予防」という形で医療従事者の腰痛予防に関して講演していきたいと考えている。

西浦会長：福岡県の活動として廣滋学術局長にお願いする。会長および講師 2 名の 3 名で参加する。

→承認

[学術研修部]

1. 第 102 回福岡県理学療法士会学術研修大会の企業ブースについて（別紙：11）

今回、学術研修大会において企業ブースを設ける。その企業ブースの金額設定などにおいて審議いただきたい。

企業ブース：30,000 円/1 ブース

部屋の大きさを考えて 4 ブースが適切かと考えている。

※企業展示出展募集要項（案）別紙参照

近藤事務局長：アクロスでの会場に関して限定の提案か

廣滋学術局長：今後、学会も含め企業ブースは継続していきたい

近藤事務局長：アクロスは出店料による会場費の増額はないか

宇戸理事：販売でなければ大丈夫と考える

松崎地域包括ケア推進局長：販売目的であれば会場費は 3 倍になる

宇戸理事：確認する

→承認

[教育研修部]

1. 臨床実習指導者講習会について（別紙：12）

指定規則改正から指導者要件が示された。「各都道府県で厚労省講習会を開催し、臨床実習指導者を養成すること」が求められており、福岡県士会では 2019・2020 年に各 6 回の臨床実習指導者講習会を開催予定となっている。

開催案を以下のように検討しており、審議いただきたい。

※各養成校宛の依頼文書 別紙資料参照

開催時期：6 月（オープンキャンパス時期を勘案して）

10 月～12 月（入学試験を勘案して）

※集中して会員へ案内を行い参加を促したいと思います。

- 場 所：・北九州地区
九州栄養福祉大学 2回
・福岡地区
麻生リハビリテーション大学校 2回
・筑後地区
国際医療福祉大学 2回

宇戸理事：予算がでないため、各養成校に依頼したい。使用料無料であればありがたい。利便性を考慮して場所の選定をした。

西浦会長：管理者研修会で複数の質問がでた。協会の決定が遅いため県士会に苦情がきている。

山内理事：進捗状況はどの程度なのか

廣滋学術局長：養成校から60名の参加希望あり。協会に報告すると県士会で決定してほしいと返答あり。ファシリテーターを除いて基本37名選んでほしいと。学術局で検討して協会に回答した。昨日あたり協会から連絡が入っているはず。今回は非協会員は選定していない。

宇戸理事：2月16-17日で開催する。その後福岡で中央講習会があるが不明。

廣滋学術局長：福岡では実施しない。

西浦会長：福岡には85名程度いる。6回以外は他会場で受けていただくしかない。

廣滋学術局長：専任教員でなければ交通費の支出があるとの情報もある。中央講習会について県士会に人選を任せられる不安があるため協会の方に対応をお願いしていきたい。

山内理事：次年度に関しては公募になるということか。

廣滋学術局長：案内は県士会でも行うが、申込先は協会にさせていただきたいと考える。

永野理事：養成校すべてに日程を確認して可能な日程・場所を決定しても良いのではないかと。場所ありきでなく日程ありきでも良いのではないかと。自校で開催してほしいという養成校もあるのではないかと考える。

宇土理事：養成校のイベントなども考慮しての日程を調整したいと考えていた。

永野理事：養成校のスケジュールに関しては県士会でなく養成校に任せても良いと考える。

山内理事：養成校意見交換会で養成校にお願いをした手前、各養成校に打診しても良いと考える

岩佐支部局長：養成校としては積極的なところもあると考える。

西浦会長：日程ありきで会場選出しても良いと考える。

松崎地域包括ケア推進局長：選定は学術局一任でよいのではないかと

廣滋学術局長：6回開催を予定しているが、必要に応じては研修会を増加してもよいと考えてはいる。

西浦会長：6回分に関しては協会から費用がでる。それ以外は講師料など県士会負担となるのではないかと。

廣滋学術局長：開催回数を増加した場合の予算について協会に確認をしてみる。次年度の研修会についてまだ決定していないこともあるかもしれない。臨床実習指導者として多くの会員に受けていただきたい。

西浦会長：研修会の開催回数増加を県士会からの意見として協会に打診していく。

→承認

【社会局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

[職能部]

1. 平成 31 年度学校保健等教育関連理学療法研修会について (別紙: 13)

日 時: 平成 31 年 7 月 28 日 (日) 9:00~12:00

場 所: 福岡市内

定 員: 80~120 名

第一候補

テーマ「学校における運動器障害予防の包括的連携 ―理学療法士に求めること―」

講 師: 高橋 敏明 先生 (愛媛大学医学部附属病院 地域医療支援センター)

第二候補

講 師: 山内 正雄 氏 (首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 理学療法科学域)

2. 平成 31 年度産業理学療法研修会について (別紙: 13)

日 時: 平成 31 年 8 月 予定 (日) 9:00~12:00

場 所: 福岡市内

定 員: 80~120 名

第一候補

テーマ「勤労者の生活習慣病に対する産業理学療法 (仮)」

講 師: 佐藤 友則 氏 (東北労災病院 治療就労両立支援センター)

第二候補

講 師: 野村 卓生 氏 (関西福祉科学大学 保健医療学部リハビリテーション学科

→承認

【公益事業 2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

[公益事業推進部]

1. 福岡トライアスロン 2019 への協力

下記日程・要綱で開催される福岡トライアスロン 2019 において「救護所活動」(別紙: 14)・「パラプロジェクト」(別紙: 15) への協力依頼がきている。本件は本土会の啓発活動および障がい者の社会参加に大きく貢献できる機会であり社会局公益事業推進部として本件への協力を検討している。そこで①本土会として本件への協力、②出務者への交通費の支給に関してご審議いただきたい。

大会名: 福岡トライアスロン 2019

主 催: 福岡トライアスロン実行委員会

日 時: 2019 年 6 月 30 日 (日) 7:55~13:30

場 所: 海中道海浜公園、志賀島

募集人員: 50 名

高橋社会局長: 北九州マラソンで実施しているような救護業務および物理療法機器操作についての依頼あり。物理療法に関しては慎重に検討したい。パラプロジェクトに関しては障害者の大会参加に対して理学療法士にサポートしてほしいとの依頼である。来年度の事業計画・予算については決定しているので、今回の大会参協力は難しいと考えている。今回は大会のボランティア募集を HP 上で行いと考えている。

岩佐支部局長：ここに特化した理由はあるのか。福岡みらい病院中心で行っている印象があるが。

高橋社会局長：2年前に同様の事業があつて同病院が関わっていた経緯がある。当時は救護場での活動が主であつた。今回はパラプロジェクトという企画を立ててかなりの人数が必要であるとのことで県士会に依頼があつた次第である。

岩佐支部局長：この事業をきっかけに今後依頼が増加した場合の選定方法を検討していた方が良いかと考える。

高橋社会局長：広報に協力する程度の内容と考えている。HP上の掲載だけでも問題ないとの提案もある。

県士会としてのメリットも必要である。事業内容としても今回の状況を確認していきたい。

松崎地域包括ケア推進局長：北九州マラソンに関してはPTのみ報酬がないがこの事業に関してはどうか。

高橋社会局長：この事業に関しては営利目的ではない、またどの職種にも報酬はでない。

西浦会長：内容的には非常に興味がある事業であるが、歴史のある事業ではないため、数年経過をみつつ検討していきたい。

山内理事：人員負担として50名は多いと考えるので削減も提案できるのか。

高橋社会局長：人数に関しては多いと感じる。そのあたりは確認していきたい。

永野理事：HP上の掲載は有料となるので、その点は伝えていただきたい。最低2000円からとなる。

高橋社会局長：有料となることは伝えておく。

西浦会長：理事会で決済できれば無料で掲載した前例はあつたか。

永野理事：今のところ規程に沿って徴収している。

遠藤理事：今後事業が増加した場合の協力する基準が必要と考える。県士会として偏りが出ないように。先に規程を作成することも検討が必要かと思われる。

高橋社会局長：依頼されたことに対して全て対応してきたが、今後規程が必要かと思われる。

近藤事務局長：公益法人として事業参加に当てはまる。今年度の事業案は決定しているなかで追加事業としては考えづらい。次年度も継続していく事業であれば社会局で審議して事業計画として提案していただきたい。

遠藤理事：予算も含め県士会としてのルールが必要と考える。

永野理事：今後HP掲載の規程を変更することは可能と考える。

西浦会長：社会局内で一回議論していただきたい。理学療法士としての出務なのかどうか、ボランティアとして対応するのか。そのあたりを県士会としての方針を検討していただきたい。

→継続審議（福岡トライアスロン2019への広報協力は可）

2. 身体機能手帳（仮）の作成について（別紙：16）

理学療法（士）（会）の啓発として、標記手帳の作成を検討している。理学療法評価・フィードバックを行い、その結果を対象者が管理し、医療・介護施設や体力測定事業などで共通して利用可能な方法を考えている。啓発事業、介護予防事業両面で利用可能な方法として考えているため、その可否についてご審議頂きたい。

熊谷理事：啓発事業としてお薬手帳の理学療法士版を作成できればと考えている。理学療法士の業務内容なども記載したりできると。プリンターなどの機器の不具合時にも対応できる。

岩佐支部局長：来年度事業としてではなく、検討して再来年度から実施予定としているのか。

熊谷理事：来年度の予算に計上していないため県士会事業として行うのであれば再来年度からかと考えている。

高橋社会局長：啓発事業として県士会作成のクリアホルダーを配っていたが、今後事業によっては必要に応じて有償で提供しても良いかとも考える。

松崎地域包括ケア推進局長：作成は賛成。福岡市で類似した冊子を作成している。測定マニュアルまで掲載すると少し方向が違うような気がする。マニュアルは別で作成の必要性がある。

西浦会長：作成する方向で承認。内容に関しては今後検討していく。

近藤事務局長：運用を明確にしてほしい。余剰に作成してもいけない。

→承認

【各委員会】

【選挙管理委員会】

1. 選挙管理委員の立候補受付について（別紙：17～19）

選挙管理委員の立候補受付について別紙の通り提案する。

選管：役員・監事選挙に関してですが、理事・監事共に立候補者が定数内のため選挙は実施しない。

次回の代議員総会にてもう1名選挙管理委員の追加選出を行いたい。

公募に関しては要項のとおり。複数名の立候補であれば互選による。

音地理事：電子メールで提出となっているが、PDF文書となっているので手間がかかるが他の書式への変更は可能であるか？

選管：前回の選挙も同様に実施した。

松崎地域包括ケア推進局長：PDF文書ファイルでの提出との文言はないのでワードなどを利用できないか。

永野理事：辞書で提出する必要が無ければワード・エクセルでも可能かと

西浦会長：ホームページ上にワードで貼り付けるなどの方法変更していただく

近藤事務局長：提案ですが総会資料に名前を謳っていた方がいいのでは。4月理事会で総会資料の承認を得るのでその後の追記となると代議員への発送が遅延するので公募期間を早められないか。また、複数名立候補があった場合は互選でなく、くじ引きなど公平な対応を再度検討していただきたい。

選管：持ち帰って検討します。

→西浦会長：今の内容を踏まえて承認とする。

近藤事務局長：総会の議題として任期延長および承認の2つの議題が上がると思います。

【表彰委員会】

1. 平成30年度協会賞表彰者として以下の該当者を推薦する。

小柳 靖裕 氏（製鉄記念八幡病院）

推薦理由：小柳氏は、福岡県理学療法士会の組織が拡大し支部制導入の際、北九州支部長として北九州地区（北九州1地区・北九州2地区・筑豊地区）をまとめ運営を実施した。支部制を軌道に乗せた後は、同じく組織拡大に伴い導入された三局制の中で設立された社会局長として活躍し同時に副会長としても福岡県理学療法士会の安定運営に携わった。現在の福岡県理学療法士会の組織があるのは、小柳氏の貢献によるところが大きい。

佐藤理事：表彰者の基準はあるか

諫武理事：明確なものがある。選出に関しては協会から人数の指定がある。

→承認

【50周年記念式典準備委員会】

1. 市民公開講座・式典・祝賀会のスケジュールについて（別紙：20）

福岡県理学療法士会設立50周年式典当日のスケジュールについて作成したので別紙参照いただきたい。あわせて、祝賀会イベント・記念品についても審議いただきたい。

廣滋学術局長：チラシやHP掲載内容についても検討している。

2. 50周年記念式典招待者リストについて（別紙：21、22）

福岡県理学療法士会式典・祝賀会招待者リストを別紙の通り作成したので確認いただきたい。

廣滋学術局長：議員に関しては理学療法士連盟に相談し、招待者を検討する。

3. 福岡県理学療法士会設立50周年記念誌目次確認について（別紙：23～25）

福岡県理学療法士会設立50周年記念誌目次を別紙の通り作成したので確認いただきたい。

→承認

【報告事項】

【会長】

1. 福岡県理学療法士連盟役員会への参加

日 時：平成31年1月19日（土）15：30～17：30

場 所：桜十字福岡病院

出務者：西浦、近藤

2. 福岡県リハビリ専門職介護予防指導者養成研修会

日 時：平成31年1月27日（日）10：00～15：00

場 所：黒崎ひびしんホール

【事務局長】

1. 当会事務職員（理学療法士）の募集について

平成31年2月8日まで受付中

近藤事務局長：現在2名希望あり。4月1日からの雇用を検討している。

2. 後援名義一覧（別紙：26）

【事務局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[総務部]

1. 平成30年度管理者研修会（福岡1地区）

日 時：平成30年12月1日（日）9：00～12：30

場 所：桜十字福岡病院

参加者：40名

出務者：諫武、平原

2. 平成30年度管理者研修会（筑後2地区）

日 時：平成 30 年 12 月 8 日（土）14：00～17：30

場 所：柳川リハビリテーション病院

参加者：28 名

出務者：諫武、加藤

3. 平成 30 年度管理者研修会（福岡東地区）

日 時：平成 31 年 1 月 12 日（土）14：00～17：30

場 所：水光会ウェルネスセンター

参加者：25 名

出務者：諫武、池永

【公益事業 2 理学療法者の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[組織部]

1. アプリ「福岡理学ナビ」

登録者数 1003 名（平成 31 年 1 月 13 日現在）

2. メンタルヘルスアンケート調査

平成 30 年度内に実施予定にてシステム構築中

3. 平成 30 年度減点査定調査

平成 31 年 2 月～3 月実施予定にてシステム構築中

4. 会員広報媒体活用状況調査

平成 30 年 12 月～平成 31 年 3 月にて各研修会等参加者に対して実施中

【法人事業】

I. 事業

[総務部]

1. 平成 30 年度新人研修会

日 時：平成 31 年 1 月 13 日（土）10：00～16：30

場 所：パピヨン 24 ガスホール

参加者：A-1：311 名、A-2：311 名、A-3：312 名、A-4：313 名、A-5：307 名

出務者：平原、池田

2. 平成 31 年度新人オリエンテーションについて

（福岡支部）日 時：平成 31 年 4 月 28 日（日）10：00～12：00

場 所：和白リハビリテーション学院

（北九州支部）日 時：平成 31 年 4 月 14 日（日）10：00～12：00

場 所：製鉄記念八幡病院 4 階講堂

（筑後支部）日 時：平成 31 年 4 月 29 日（月）10：00～12：00

場 所：ホテルニュープラザ久留米

[財務部]

1. 予算執行状況確認作業（1 月 10 日現在）

収支予算の事業別区分経理の内訳表 作成
(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 1 月 10 日)
収入：63,908,364 円
支出：38,921,128 円

公益事業三要件

公益事業比率 71.85%
収支相償 8,216,836 円

II. 関係会議

[総務部]

1. 第 6 回総務部 WEB 会議

日 時：平成 31 年 1 月 15 日 (火) 19:00～20:15

内 容：平成 30 年度管理者研修会について
共催・協賛・後援規定作成について
養成校意見交換会について
2019 年度事業計画について

出務者：諫武、平原、加藤、池田、池永

【学術局】

【公益事業 1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[学会部]

1. 第 29 回福岡県理学療法士学会に関して

1) 大会テーマについて

「挑戦！～理学療法士が今やらないといけないこと 未来に向かってやるべきこと～」
28 回県学会の昼休みにスライドで宣伝する

2) 講演時間の変更

特別講演時間 90 分を 60 分に変更し新企画を追加する

3) 名称変更

- ・「一般セッション」→「Best Research Award セッション」
 - ・「若手セッション」→「Young Investigator Award セッション」
- 上記のように名称変更を検討中

4) 症例報告のみのセッションを新設

- ・「Case Report Award セッション」

選出方法：演題募集の際に、Case Report Award セッションを行う旨をアナウンスし、そのセッション希望で症例報告として演題登録したものの中から優秀な演題を選出。

5) 新企画としてシンポジウム・ランチョンセミナーを追加する

- ・シンポジウム 1「今ここが熱い！理学療法士の新規参入」

(趣旨) 理学療法士が介入している数の少ない分野を取り上げる。ウィメンズヘルス・メンズヘル

ス、新生児分野、産業分野、自立開業に関して興味を持って参入数が増加するように、先駆者の取り組みや苦勞などを発表していただく。

・シンポジウム2「Stop the 心不全」

(趣旨) 大腿骨頸部骨折に慢性心不全の既往、COPD の既往ありなど重複した疾患を持つ高齢者への対応が増加している。特に心不全は疾病管理の観点からも病期に関わらずシームレスな対応が必要となる。特に介護・在宅分野で活躍する PT にとって心不全兆候を発見することは重症化を防ぐことにも繋がり、非常に重要な役割を担っている。本セッションでは、病期に沿って心不全患者の関わり方・介入方法（急性期：治療内容の理解や薬剤の理解。慢性期：栄養・フィジカルアセスメント）を学ぶ。

・ランチョンセミナー

内容未定

6)学会 HP の早期開設について

28 回学会終了後より、29 回学会の HP を早期に開設したい。随時学会準備の進捗状況などを更新することで、学会 HP へのアクセスを増やし学会自体の広報に力を入れたい。

2. 第 28 回県学会運営委員一覧

所属	氏名
遠藤 正英	桜十字福岡病院
齊藤 貴文	麻生リハビリテーション大学校
小田 憲之	たたらリハビリテーション病院
寒竹 啓太	福岡みらい病院
伊集院沙奈子	ミニデイサービスひまわりの家
平山 剛士	誠愛リハビリテーション病院
山坂 誠一	北九州津屋崎病院
樋口 貴彦	宗像水光会総合病院
黒川 慶紀	宗像水光会総合病院
石松元太郎	宗像水光会総合病院
上内田 亮	済生会福岡総合病院
山口 展明	桜十字福岡病院
相浦 聖人	博愛会病院
大畷 裕	原土井病院
久保田勝徳	桜十字福岡病院
福田 輝和	朝倉医師会 介護支援センター
安 勇輝	甘木中央病院
上瀧 貴弘	朝倉医師会病院
村上 武士	柳川リハビリテーション病院
木原 太史	足立医院
綾部 雅章	久留米リハビリテーション学院
兵頭 正浩	新小倉病院
帆足俊一朗	小倉リハビリテーション学院

井上 智之	JCHO 九州病院
本田真一郎	サポートセンター本城
亀田 千恵	JR 九州病院
中村 雅隆	田原整形外科医院
井上 智博	飯塚病院
森田 康之	新小倉病院
秋 達也	福岡新水巻病院
内田 博之	製鉄記念八幡病院

[学術誌編集部]

1. 理学療法福岡 32 号進捗状況

1) 巻頭言：廣滋 恵一 氏 (学術局局长)

2) 特集テーマ：スポーツリハビリテーション

梶村 政司 氏：東京オリンピック・パラリンピックに対する日本理学療法士協会の取り組み

野原 英樹 氏：スポーツ障害に対するスポーツリハビリテーション (受理済)

三浦慶太郎 氏：障がい者に対するスポーツリハビリテーション (受理済)

3) 講演録：藤縄 理 氏 (埼玉県立大学)

井垣 誠 氏 (公立豊岡病院日高医療センター) (受理済)

今屋 健 氏 (関東労災病院)

勝木 秀治 氏 (関東労災病院) (受理済)

牧迫飛雄馬 氏 (鹿児島大学) (受理済)

高橋 哲也 氏 (順天堂大学) (受理済)

4) 県学会受賞論文

第 26 回県学会優秀賞：山内 康太 氏 (製鉄記念八幡病院)

標題：運動失調を呈する急性期脳卒中中の Scale for the Assessment and Rating of Ataxia による運動失調重症度評価の有用性 —退院時転帰先予測および反応性について—

第 27 回県学会受賞演題は投稿辞退

第 27 回県学会奨励賞：和田あゆみ 氏 (JCHO 九州病院) (再投稿待ち)

5) 一般投稿論文

(1) 岡 真一郎 氏 (国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科)

(原著) 標題：臨床実習での情意領域に対する教育効果の関連因子
—診療参加型臨床実習と従来型臨床実習の比較—

(2) 烏山 昌起 氏 (田原整形外科)

(原著) 標題：肩関節疾患患者の夜間痛に対する就寝指導パンフレットの満足度調査
—CS 分析を用いた検討—

(3) 谷 和 氏 (高木病院)

(症例報告) 標題：外傷性良性発作性頭位めまい症を呈した症例に対する耳石置換法および患者教育の効果

(4) 井澤 渉太 氏 (福岡リハ整形外科クリニック)

(原著) 標題：変形性膝関節症患者の低い主観的幸福感に影響する因子：横断研究

- (5) 茅島 大樹 氏 (久留米大学病院)
 (症例報告) 標題: 破傷風患者における早期理学療法への検討
- (6) 遠藤 正英 氏 (桜十字福岡病院)
 (実践報告) 標題: 当院における新人教育の効果
- (7) 有働 大樹 氏 (正和中央病院)
 (原著) 標題: 両側の大腿骨近位部骨折患者における日常生活動作の変化と再骨折因子
- (8) 荒木真由美 氏 (木村病院)
 (症例報告) 標題: 深部静脈血栓が残存する肺高血圧症患者に対する下肢静脈血栓助長予防のための足関節運動介入

査読中: 3 件

6) 教育講座

テーマ: 福岡県学会抄録 (1200 字) の書き方

執筆者: 山内 康太 氏 (製鉄記念八幡病院)

7) 編集後記: 梅野 和也 氏 (学術誌編纂部部長)

2. 査読規定改定

査読回数: 現状 C 判定 2 回で不掲載を 3 回とする。

再投稿期間: 半年から 3 ヶ月以内に短縮する。

[学術研修部]

1. 平成 30 年度理学療法士講習会 応用編

2018 年 11 月 25 日 (日) 9:30~16:30 (9:00~受付)

第 1 部 9:30~12:30 第 2 部 13:30~16:30

場 所: 福岡国際医療福祉学院

研修会テーマ: 「生活機能障害を捉える視点と根拠に基づいた介護予防トレーニング」

テーマ 1: 「セラピストに求められる生活機能障害を捉える視点」

講 師: 河添竜志郎 氏 (株式会社 くますま 代表取締役)

テーマ 2: 「高齢者に対する根拠に基づいた介護予防トレーニング」

講 師: 池添 冬芽 氏 (京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻准教授)

定 員: 40 名

受講者: 事前予約: 45 名 欠席: 3 名 (連絡有) 受講者: 42 名

福岡県 (22 名)、佐賀県 (2 名)、長崎県 (4 名)、大分県 (3 名)、熊本県 (2 名)

宮崎県 (1 名)、鹿児島県 (1 名)、山口県 (4 名)、愛知県 (1 名)、埼玉県 (1 名)

京都府 (1 名)

出務者: 山口、長谷川、國友、中野、宇戸

[教育研修部]

1. 平成 30 年度 新人研修会 (福岡)

日 時: 2019 年 1 月 13 日 (日) 10:00~16:30 (受付 9:30~)

場 所: パピヨン 24 ガスホール

テーマ: A-1 理学療法と倫理 講師

講師：諫武 稔 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事）

テーマ：A-2 協会組織と生涯学習システム

講師：西浦 健蔵 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 会長）

テーマ：A-3 リスクマネジメント

講師：久原 聡志 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事）

テーマ：A-4 人間関係および接遇

講師：音地 亮 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事）

テーマ：A-5 理学療法における関連法規

講師：遠藤 正英 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事）

参加者：A-1 理学療法と倫理 : 311 名

A-2 協会組織と生涯学習システム : 311 名

A-3 リスクマネジメント : 312 名

A-4 人間関係および接遇 : 313 名

A-5 理学療法における関連法規 : 307 名

出務者：嶋邨、脇坂、岡本、宇戸

II. 関係会議

[学術局]

1. 第4回学術局会議 (web)

日時：平成31年1月23日（水）19:30～21:00

内容：審議事項の検討・報告事項の確認

出務者：廣滋、音地、佐藤、宇戸、岩佐（支部）、山内（北九州）、兵頭（北九州）、遠藤（福岡）、久保田（福岡）、馬場（福岡）、綾部（筑後）、鈴木（29回学会長）

[学会部]

1. 第3回学会部会議

日時：平成31年1月15日（火）19:00～21:00

会場：新吉塚病院

出務者：音地、林田、富澤、吉田、丹生、山口、鈴木（次期学会長）

2. 運営担当者会議

日時：平成31年1月22日（火）19:00～21:00

会場：新吉塚病院

出務者：廣滋学会長、平原（総務）、遠藤（責任者）、兵頭（責任者）、音地、林田、富澤、吉田、丹生、山口

[学術誌編纂部]

1. 第2回学術誌編纂部会議

日時：平成30年12月17日（月）19:00～21:00

会場：麻生リハビリテーション大学校

出務者：佐藤、宮崎、梅野、明治、末松、伊藤、古井

[学術研修部]

1. 第4回学術研修部会議

日 時：平成30年12月18日（火）19：00～21：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校 会議室

内 容：・第102回学術研修大会について

進捗状況確認と情報共有

・研修会年間スケジュール（支部・地区研修会など研修会の状況確認）

・理学療法士講習会および専門理学療法研修会

進捗状況確認および情報共有

・臨床実習指導者研修会 ⇒ 教育研修部へ移管

・2019年度は臨床実習指導者講習会（6回/年）を開催予定

出務者：山口、長谷川、國友、白川、丸山、中野、野元、宇戸

[教育研修部]

1. 第4回教育研修部会議

日 時：平成30年12月19日（水）19：00～20：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校 会議室

内 容：・研修会年間スケジュール（支部・地区研修会など研修会の状況確認）

・単位認定の手引き

新生涯学習システムについては記載しない。

例年のスケジュールおよび600部を印刷発注する

・新人研修会進捗状況・情報共有

出務予定者：岡本、嶋邨、脇坂、宇戸

集合時間や会場下見による情報を共有

・臨床実習指導者研修会 ⇒ 教育研修部へ移管

2019年度、2020年度は臨床実習指導者講習会（6回/年）を開催予定

臨床実習指導者中央講習会について（85名選出方法など）

2019年度以降の臨床実習指導者講習会（6回/年）の運営担当出務について確認

講習会の企画（日程、場所など）について方向性を確認

・その他

・新人研修会（2019年度開催より教育研修部と各支部運営スタッフによる開催）

・理学療法士講習会（基本編）の確認

・臨床理学療法研修会（3月9日）について情報共有

出務者：岡本、岡、川口、脇坂、宇戸

[研究助成審議会]

1. 第1回研究助成審議会

日 時：平成31年1月7日（月）19：00～21：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：応募5件について審議

条件付採択の条件として、「審査者コメント（質問）について、1月29日（火）（審査翌日から3週間）までに適切な回答を得た場合、採択とする」との判断に至った申請2件について回答待ち。1月30日から審査員内で精査し、最終判断を下す（回答期限から2週間後の2/12まで）。

出務者：廣滋、白石、金子、前田、吉田、宇戸、久原

【社会局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

II. 関係会議

[社会局]

1. 第4回社会局会議

日 時：平成31年1月16日（水）19:00～21:00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：来年度事業に関して

出務者：高橋、久原、熊谷

[職能部]

1. 第5回職能部会議

日 時：平成30年12月20日（木）19:00～20:00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：2019年度学校保健等教育関連理学療法研修会、産業理学療法研修会について

出務者：麻生、白石、稲富、永島、吉村（直）、吉村（美）、久原

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

II. 関係会議

[社会局]

1. 第4回社会局会議

日 時：平成31年1月16日（水）19:00～21:00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：来年度事業に関して

出務者：高橋、久原、熊谷

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

I. 事業

[公益事業推進部]

1. 平成30年度障害者スポーツ研修会 第5回車いすテニスメディカルトレーナー養成研修会②

日 時：平成30年12月7日（金）19:00～21:00

場 所：宗像水光会総合病院

テーマ：「脊髄損傷患者のスポーツ選手に対する対応」

講師：有地 祐人 氏（総合せき損センター中央リハビリテーション部）

参加者：7名

出務者：高橋、植田

2. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（バスケットボール）

日時：平成30年12月9日（日）9：00～11：30

場所：甘木市立甘木中学校

内容：中学生に対する障害（傷害）予防指導

利用者：甘木中学校バスケットボール部19名（男子8名・女子11名）

教員2名

出務者：宇都、川原

3. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（バスケットボール）

日時：平成30年12月23日（日）9：00～11：30

場所：北九州市立企救中学校

内容：中学生に対する障害（傷害）予防指導

利用者：北九州市立企救中学校バスケットボール部37名

教員4名

出務者：藤本、稗田、中村、鈴木

4. 平成30年度障害者スポーツ研修会 第6回車いすテニスメディカルトレーナー養成研修会③

日時：平成31年1月18日（金）19：00～21：00

場所：宗像水光会総合病院

テーマ：「大会におけるメディカルトレーナーについて」

講師：中田 浩一 氏（田川新生病院）

講師：三浦慶太郎 氏（さくら整形外科リハビリテーション医院）

参加者：7名

出務者：樋口

5. その他スポーツ障害予防に対する活動全般事業（バスケットボール）

日時：平成31年1月19日（土）9：00～11：30

場所：北九州市立熊西中学校

内容：中学生に対する障害（傷害）予防指導

利用者：中学校バスケットボール部24名（2年生8名 1年生16名）教員1名

出務者：川原、藤本、辻、馬場

6. 北九州 OPEN 車いすテニス大会事前研修会

日時：平成31年1月24日（木）19：00～21：00

場所：宗像水光会総合病院

テーマ：「選手の笑顔とプレーを支える」

講師：中尾 淳 氏（小倉リハビリテーション病院）

講師：平野 雅也 氏（小倉リハビリテーション病院）

利用者：23名

出務者：植田、高橋

II. 関係会議

[社会局]

1. 第4回社会局会議

日 時：平成31年1月16日（水）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：来年度事業に関して

出務者：高橋、久原、熊谷

[公益事業推進部]

1. 第5回公益事業推進部会議

日 時：平成30年12月13日（木）19：00～21：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：平成31年度スポーツ関連事業研修会について

出務者：久保田、下田、吉井、高橋、寒竹、石川

2. 第6回公益事業推進部会議（WEB）

日 時：平成31年1月9日（水）19：00～21：00

内 容：審議事項および下半期事業確認

出務者：奥野、田代、松垣、熊谷

【地域包括ケア推進局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[地域包括ケア推進局]

1. 地域ケア会議推進リーダーステップアップ研修会

日 時：平成31年1月14日（日）8：30～16：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：・介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）について

・福岡県における地域ケア会議の現状

・地域ケア会議で使えるコーチング技術

・地域ケア会議で助言をする時の視点

・このような事例にどう助言する？（グループワーク）

講 師：今村 純平、松崎 哲治、恒松 伴典、竹下 真大

出務者：時吉、西村、林、村田

II. 関係会議

[地域包括ケア推進局]

1. 第4回地域包括ケア推進局会議

日 時：平成31年1月26日（土）15：00～18：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：1）各市区町村の現状把握報告・各市区町村実務担当者見直し・各市区町村への「地域ケア

会議」、「介護予防」事業戦略

- 2) 地域包括ケア推進リーダー導入研修会・介護予防推進リーダー導入研修会
- 3) 地域医療介護総合確保基金（H31年度）
- 4) 講義資料作成分担（担当理事：今村理事）
- 5) 平成30年度事業計画・予算案・事業報告・収支
- 6) 地域包括ケア推進リーダー・介護予防推進リーダー管理
- 7) 福岡県地域ケア会議ドバイザー派遣事業
- 8) 福岡市介護予防事業

出務者：松崎、今村、時吉、松崎、大島、志田、林、村田、中村、山脇、薮野、帆足、鳥山、高木、

【公益事業3 理学療法の知識・技術を提供する事業】

II. 関係会議

[地域包括ケア推進局]

1. 福岡市介護予防事業 事業説明会

日 時：平成30年12月10日（月）19：00～21：30

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：1) 福岡市介護予防事業について（福岡市 地域包括ケア推進課）

2) 福岡市介護予防事業マニュアルについて（白石 氏）

3) 実施における注意点・諸連絡（松崎 氏）

福岡市 地域包括ケア推進課 より2名の参加

出務者：松崎、村田、中村、薮野、白石、遠藤、荒木

【支部局】

【公益事業1 理学療法士の知識及び技術の向上を図る事業】

I. 事業

[支部局]

1. 症例検討会における抄録の執筆要綱について（別紙：27）

症例検討会の抄録の執筆要綱を支部局で作成した。

県学会登録を想定した形式としている。

症例報告の reporting guideline (CARE) を症例検討会の要項と併せて HP に link できるように総務へ依頼する予定である。

[福岡支部]

1. 平成30年度 新人研修会（福岡）

日 時：平成31年1月13日（日）9：00～17：00

場 所：パピヨン24 ガスホール

内 容：A-1 理学療法と倫理

講師：諫武 稔 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事）

A-2 協会組織と生涯学習システム

講師：西浦 健蔵 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 会長）

A-3 リスクマネジメント

講師：久原 聡志 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事）

A-4 人間関係および接遇

講師：音地 亮 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事）

A-5 理学療法における関連法規

講師：遠藤 正英 氏（公益社団法人 福岡県理学療法士会 理事）

出務者：遠藤、久保田、伊集院、川崎、山口、園田、山坂、相浦

[福岡1地区]

1. 第5回福岡1地区研修会

日 時：平成30年12月7日（金）19：00～21：00

場 所：麻生リハビリテーション大学校

内 容：「心疾患と検査データの見方」

講 師：松本 尚也 氏（福岡大学西新病院）

司 会：長尾 有起 氏（さく病院）

参加者：84名

出務者：有馬、齊藤、寒竹、平山、倉住、里崎

[福岡2地区]

1. 第4回福岡2地区研修会

日 時：平成30年12月9日（木）9：30～12：30

場 所：博愛会地域リハビリテーションセンター

内 容：「脳卒中に対する運動療法 ～エビデンスに基づくトレーニング理論と実践」

講 師：吉村 恵三 氏（九州中央病院）

司 会：今井 陽平 氏（博愛会病院）

参加者：62名

出務者：上内田、中嶋、荒木

[福岡東地区]

1. 第5回福岡東地区研修会

日 時：平成30年12月14日（金）18：30～21：30

場 所：水光会ウェルネスセンター

内 容：「循環器疾患をざっくりやさしく理解する」

講 師：石松元太郎 氏（宗像水光会総合病院）

司 会：藤井 良介 氏（宗像水光会総合病院）

参加者：38名

出務者：藤井、甲斐

[北九州1地区]

1. 第7回北九州1地区研修会

日 時：平成30年12月13日（木）19：00～21：00

場 所：北九州リハビリテーション学院

テーマ：症例発表会

- 演題：①「大腿骨転子部骨折によりγネイル施行した症例～骨頭求心位と静的立位～」
浦野 勢晃 氏（新行橋病院）
- ②「多職種チームでの排泄アプローチにおける理学療法士の役割～入院5ヶ月後に排泄動作が自立した脳卒中患者～」河田 裕行 氏（小倉リハビリテーション病院）
- ③「右膝蓋骨粉碎骨折を呈した症例～膝関節屈曲制限への予防に着目した理学療法～」
義経 光 氏（新行橋病院）
- ④「劣位半球症状を合併した重度片麻痺患者の見守り歩行に向けた理学療法の一考察」
柴村 彩 氏（小倉リハビリテーション病院）
- ⑤「破裂性椎骨動脈解離によるくも膜下出血を呈した症例～超急性期におけるリスク管理と理学療法介入～」小林絵里香 氏（新行橋病院）
- ⑥「大動脈解離(stanfordB型)を呈した症例～退院後の運動習慣獲得～」
新銅 祐人 氏（新行橋病院）
- ⑦「転倒により左大腿骨頸部骨折を受傷し、人工骨頭置換術を施行した症例～疼痛を原因とした荷重不良に着目して～」西田 陽平 氏（新行橋病院）
- ⑧「消化管出血により廃用症候群を呈した症例～全身持久力低下に着目した理学療法～」
大場 千尋 氏（新行橋病院）
- ⑨「右延髄外側症候群を呈した症例～体幹失調に対する理学療法～」
田中 悠葵 氏（新行橋病院）
- ⑩「左大腿骨頸部骨折を呈した症例～術後早期立位荷重時の骨盤安定性に着目して～」
南部 衿花 氏（新行橋病院）
- ⑪「急性大動脈解離 Stanford B を発症し低栄養状態になった症例～栄養と運動負荷を考慮し歩行能力獲得を目指して～」片桐 直樹 氏（新行橋病院）
- ⑫「歩行練習アシスト「ウエルウォーク」の適応についての一考察～心疾患を合併した重度右片麻痺患者が発症4ヶ月後に歩行能力の向上を認めた症例～」
林 ひかり 氏（小倉リハビリテーション病院）
- ⑬「左頭頂葉皮質下出血により運動麻痺を呈した症例～Pushing 症候群がみられる患者の座位保持能力獲得を目指して～」濱田 勇利 氏（新行橋病院）

司会：千代野竜太 氏（小波瀬病院） 江本 博道 氏（小波瀬病院）

参加者：30名

出務者：亀田、池田、國田、藤内

[筑豊地区]

1. 第6回 筑豊地区研修会

日時：平成31年1月27日（日）9：00～12：00

場所：飯塚病院エネルギーセンター

テーマ：「解剖学と理学療法」

講師：壇 順司 氏（帝京大学福岡医療技術学部）

司会：瀬尾 徹 氏（りはなす訪問看護ステーション）

参加者：67名

出務者：引田、小倉、井上、亀谷

[筑後支部]

1. 第5回筑後支部研修会

日 時：平成31年1月12日（土）15：00～18：00

場 所：柳川リハビリテーション病院

テーマ：「骨格筋を3次元的に触る事で ～肩・上腕の触察～」

講 師：木原 太史 氏（足達消化器科整形外科医院）

司 会：榊 英一 氏（柳川リハビリテーション学院）

参加者：36名

出務者：村上、江頭、野田、平田、山田、伊藤

[筑後1地区]

1. 第2回筑後1地区研修会

日 時：平成30年12月5日（水）19：00～20：30

場 所：新古賀病院

テーマ：「肩関節の機能解剖・ADLを見据えたアプローチを考える」

講 師：河上 淳一 氏（九州栄養福祉大学）

司 会：家守 秀彰 氏（甘木中央病院）

出務者：安、川原、中原、石橋、田中

参加者：53名（内10名OT 福岡県作業療法士協会入会者）新プロ単位認定者10名

II. 関係会議

[福岡東地区]

1. 第3回福岡東地区運営会議

日 時：平成30年12月8日（金）19：00～20：00

場 所：宗像水光会総合病院

内 容：平成30年度福岡支部、福岡東地区事業報告および予定

出務者：石松、藤井、赤川、桑原、山坂、林、石元、阿部、樋口

[筑後1地区]

1. 第4回筑後1地区会議

日 時：平成31年1月11日（金）19：00～21：00

場 所：朝倉医師会 介護支援センター

テーマ：症例報告会事前会議

出務者：福田、安、川原、石橋、上瀧、木村、高村、西、立石、家守、塚田、水野、田中、中島

【公益事業2 理学療法の知識・技術の普及・啓発を行う事業】

I. 事業

[北九州2地区]

1. 北九州2地区体力測定会

日 時：平成30年12月7日（金）13：00～16：00

場 所：遠賀中学校

内 容：人権・障害・理学療法士についての説明、障害体験、体力測定会

利用所：127名

出務者：12名

2. 北九州2地区体力測定会

日 時：平成31年1月23日（水）9：00～12：00

場 所：戸畑区中原市民センター

内 容：体力測定会、その他

利用者：23名

出務者：伊藤、石川、森本、古田、中島、鍋島、實松

[筑豊地区]

1. 第2回筑豊地区体力測定会

日 時：平成30年12月2日（日）11：00～16：30

場 所：桂川町住民センター

出務者：井上、横手、尾方、南、一番々瀬、渡邊、山辺、瀬尾、小倉、薬師寺、溝口、太田、井上、
林田、辻岡、梶原

利用者：56名

II. 関係会議

[北九州2地区]

1. 第8回北九州2地区会議（事前会議1月23日開催「中原市民センター」）

日 時：平成31年1月16日（水）18：30～20：00

場 所：東筑病院

内 容：中原市民センターにおける体力測定会、開催日時の確認、その他

出務者：伊藤、石川、本田、古田、森本、實松

[筑豊地区]

1. 第4回筑豊地区会議（介護予防事業会議）

日 時：平成31年1月29日（火）19：00～20：00

場 所：ムーブメント飯塚

議 題：来年度の筑豊地区介護予防事業について

出務者：井上智博、井上、瀬尾、井幡、野田、清藤、引田

【法人事業】

II. 関係会議

[北九州支部]

1. 第3回支部局会議

日 時：平成31年1月8日（火）19：00～21：00

場 所：桜十字病院

内 容：次年度事業について

出務者：岩佐、山内、遠藤、福田

【各委員会】

【卒前・卒後教育検討委員会】

1. 実習指導者向けアンケートについて

実習指導者向けアンケート実施（実施と時期）について承認を得ております。アンケートの作成とその方法について以下のように実施いたします。

実施時期：2019年2月末～3月末

実施方法：各施設へ郵送（返信用封筒にてアンケート回収）

実習指導者アンケート調査 別紙資料参照（別紙：28）

【確認事項】

【地域包括ケア推進局】

[地域包括ケア推進部]

1. 推薦要件（地域ケア会議・介護予防事業）（別紙：29）

2. 広域連合本部合議体の設置について協力

松崎地域包括ケア推進局長：家庭訪問を行って個別指導を行っていただきたいとの要望あり

3. 広域連合介護給付費等適正化に向けた取り組みについて協力

松崎地域包括ケア推進局長：医師・理学療法士・介護士など5名で行う予定。三役相談の上選定していく。

事業内での転倒事案について

山内理事：事業での転倒があった場合、地区事業などは保険に入っている。事業自体が保険に入っているか確認および加入しておく必要があるものとする。万が一に備えておく必要がある。

岩佐支部局長：インシデント症例となるので情報共有しておく必要がある

松崎地域包括ケア推進局長：理事メールにて報告します。

【依頼事項】

【事務局】

[財務部]

1. 1月10日現在で予算執行状況確認作業を実施したところ、収支相償が8,216,836円のプラスとなっています。予算計画を予定通り執行お願いいたします（別紙：30）

【学術局】

[学術局]

1. 2019年度 年間学術スケジュール作成のお願い

廣滋学術局長：グーグルカレンダーでの運用を計画しているので改めて報告していく。当面は4月開始予定で進めていく。

【次回理事会】

日 時：平成31年4月27日（土）14：00～

会 場：麻生リハビリテーション大学校